

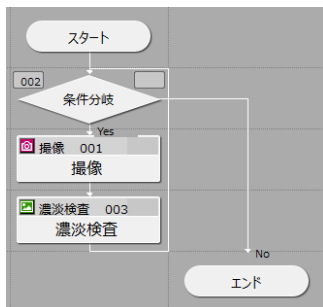
CANON INDUSTRIAL IMAGING PLATFORM

Vision Edition

Q & A



フローチャートをループさせて一定回数に達すると抜けるようにしたい



フローチャート内部でループさせて、ある回数を超えたらループを抜ける作り
にしたい。

処理回数だと回数が積算されてしまうので条件として使えません。
どのような作り方をすれば実現できるでしょうか？

(例) 左図において、10回ループしたらエンドに抜けるようにしたい



四則演算パーツをカウンターとして応用することができます

上のようなフローを一定回数循環させるには、以下の手順でフローを作成してみてください

手順①. [定数設定]画面を開き、カウントアップ回数を設定するための定数を作ります (これは任意)



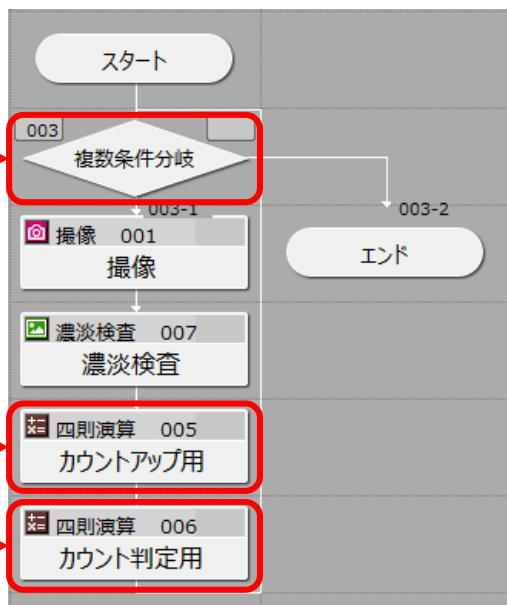
No.	定数	コメント
00	5.000	カウントアップ回数設定

上記の数字は例。必要な回数に適宜設定ください。

手順②. 以下のようなフローを作ります

ユニットテンプレート:

- カメラ
- 分岐処理
 - 条件分岐
 - 複数条件分岐
- 画像処理
- モデルマッチング
- ロボット操作
- 演算
 - 四則演算
 - 角度演算
 - 複数条件分岐演算
 - 最大値/最小値
 - 数式演算
 - 出力値統計
 - 2直線の交点
 - 2点間の計算



Vision Edition Q & A

手順③. 各フローの中身は以下のようにしてください。

003
複数条件分岐
003-1

分岐番号	接続先	比較対象	条件	値1	値2
1	001: 撮像	001 演算値	値1より小さい	001: カウントアップ回数設定	
2	-002: エンド	006: カウント判定用	値1に等しい	001: カウントアップ回数設定	

【006カウント判定用】に
用意した四則演算パーツを指定

手順①で用意した定数を指定
or 任意の値を指定

四則演算 005
カウントアップ用

ユニット名: カウントアップ用 演算値: 1.000

No.	演算子	項	項の値	コメント
1		001 演算値	0.000	
2	+	006: カウント判定用	1.000	

【006カウント判定用】に
用意した四則演算パーツを指定

【+ 1】を加算するように設定します

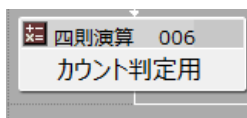
詳細設定 判定条件 その他

実行条件
 実行条件を反転させる

オプション
 フローチャートの開始時にこのユニットの出力値をクリアする

【その他】タブにある【フローチャートの開始時にこのユニットの出力値をクリアする】にチェックを入れること
 ※デフォルトではONとなっていますが、確認してください

Vision Edition Q & A



ユニット名: 演算値:

詳細設定 判定条件 その他

No.	演算子	(項)	項の値	コメント
1		<input type="checkbox"/>	<input type="text" value="00: 演算値"/> <input type="text" value="出力1"/>	<input type="checkbox"/>	0.000	
2	---	<input type="checkbox"/>	<input type="text" value="005: カウントアップ用"/> <input type="text" value="0.000"/>	<input type="checkbox"/>	0.000	

【005カウントアップ用】に用意した四則演算パーツを指定

詳細設定 判定条件 **その他**

実行条件

実行条件を反転させる

アクション

フローチャートの開始時にこのユニットの出力値をクリアする

[その他]タブにある[フローチャートの開始時にこのユニットの出力値をクリアする]にチェックを入れること
※デフォルトではONとなっていますが、確認してください

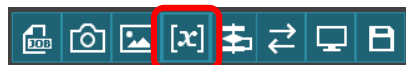
手順④. 実行してみます。

オフライン状態でも、オンライン状態でも同様に一定回数でのループを行うことを確認。



【トリガー】ボタンを押す

手順⑤. 手順①で作成した定数の値を変更して、ループ回数を変更することを確認。



No.	定数	コメント
00	<input type="text" value="5.000"/>	カウントアップ回数設定

上記の数字は例。必要な回数に適宜設定ください。